

第637回月例研究会 講演要旨 (2025年9月25日講演)

高TG血症合併 MASLD/MASH診断・治療に おける最新知見 ～脂肪肝で命を取られないために～

新百合ヶ丘総合病院 消化器内科 部長

福島県立医科大学低侵襲腫瘍制御学講座 特任教授 今城 健人氏

脂肪肝疾患は、国内外で急速に増加している慢性肝疾患であり、その背景には肥満、2型糖尿病、脂質異常症、高血圧といった代謝異常が深く関与している。近年、疾患概念の見直しが国際的に進められ、従来の「非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD: Non-Alcoholic Fatty Liver Disease)」という表現から、「代謝関連脂肪性肝疾患 (MASLD: Metabolic dysfunction-Associated Steatotic Liver Disease)」へと名称が変更された。この新たな枠組みでは、アルコール摂取やウイルス性肝炎など、他の肝疾患との重複 (例: MetALD) も含む包括的な病態理解が可能となった。

MASLDの中でも、肝細胞障害 (風船様腫大) や肝炎、線維化を伴う病態は「MASH (Metabolic dysfunction-associated steatohepatitis)」と定義され、放置すれば肝硬変や肝細胞癌 (HCC) といった肝疾患の終末像へと進行することがある。そのため、早期の病態評価と適切な介入により、進展を抑制することが極めて重要である。

診断面では、従来腹部超音波Bモードが脂肪肝のスクリーニングとして広く用いられてきたが、脂肪化や線維化の程度を正確に定量化す

ることは困難であり、特に線維化の進行度に関しては限界がある。近年では、血液検査による線維化のスクリーニングツールの活用が進んでおり、特にFIB-4 indexは有用性が高いとされる。FIB-4が1.3未満の場合は進行線維化の可能性が低く、2.67以上では進行線維化の可能性が高いため、専門医紹介や画像診断による評価 (エラストグラフィなど) を考慮することが推奨されている。

さらに、保険適用されたELFスコア (Enhanced Liver Fibrosis score) は、血中の線維化マーカー (ヒアルロン酸、PIIINP、TIMP-1など) を統合した評価法であり、線維化の重症度評価において高い信頼性を持つ。また、サイトケラチン18フラグメント (CK18F) は、肝細胞のアポトーシスや風船様腫大といった活動性を評価するためのバイオマーカーとして注目されている。

画像診断の進歩も目覚ましく、従来の超音波検査に加えて、超音波減衰法 (CAP、UGAP、ATIなど) や剪断波エラストグラフィ (VCTE、SWE)、MRIを用いた評価 (MRI-PDFF、MRE) などにより、脂肪沈着量や線維化の程度を非侵襲的かつ定量的に評価することが可能となっ

ている。特にMRI-PDFFは脂肪量の定量化、MREは肝硬度 (線維化) の評価において、いずれも「ゴールドスタンダード」としての地位を確立しつつあり、肝生検の必要性は減少している。

治療に関しては、まず体重減少 (7%以上) を目標とした食事・運動療法が基本であり、減量により肝脂肪の減少、肝炎の改善、線維化の退縮が得られることが明らかになっている。加えて、糖尿病合併例では、SGLT2阻害薬やGLP-1受容体作動薬が肝脂肪量や線維化の改善に寄与する可能性が示されており、糖尿病治療薬としてだけでなく、MASLD治療薬としての展開が期待されている。これらの薬剤は体重減少や肝疾患改善にとどまらず、心血管・腎保護作用も期待されており、全身的なリスク低減につながる可能性がある。

予後に関しては、MASLD患者の主な死因は

心血管疾患・脳血管疾患であり、次いで悪性腫瘍、そして肝関連死である。この事実は、MASLDが単なる肝疾患ではなく、全身性疾患であることを示しており、総合的なリスク評価と管理が不可欠である。マルコフモデルを用いた疫学的推計では、MASLDの患者数は2016年の約2260万人から2030年には約2270万人と絶対数そのものは大きくは増加していないものの、MASH、代償性および非代償性肝硬変、肝細胞癌といった病態進行例は、1.5～2倍に増加すると予測されている。したがって、MASLDを単なる「脂肪肝」として軽視するのではなく、見逃さず・放置せず、そして多職種で対応する体制が求められる。バイオマーカー研究やAI画像解析の進展とともに、今後の診断・治療・予後予測の精度はさらに高まり、患者の予後改善に寄与することが期待される。



◆アーカイブ配信のご案内◆

本講演は、後日アーカイブ配信を予定しております。動画は、講演終了後、順次、神奈川県保険医協会ホームページ (いい医療ドットコム) 内の「KANAOI TV [動画配信]」に掲載いたします。視聴には、ユーザー名とパスワードが必要となります。

※掲載までにお時間を頂戴する場合がございますが、ご了承のほど宜しくお願いいたします。